

## 第 67 回 SSN 勉強会

### 小学生に伝える鳥の基礎知識Ⅱ

横山解子（四街道市）

日 時：2015 年 6 月 26 日（金） 9:00～13:30

場 所：四街道総合公園→旭公民館

講 師：谷 英男 氏

参加者：指導員 16 名 非会員 11 名

講師の谷さんが選ばれた今日の  
主役は「ツバメ」。四街道市の小学  
校の理科の教科書に最もよく出て  
くる鳥であり、人に見られやすい所  
に巣を作り、生態が観察しやすいと  
いうのがその理由です。そのとおり、  
集合した場所からツバメの巣が確  
認でき、燕尾の長いオスのツバメが  
飛んでいるのを観察しました。



ソメイヨシノの開花の頃、東南ア  
ジアから日本に渡ってきて、つがいになり、産卵し、子育てをするツバメ。谷さんの「鳥  
と人間を比較しながら」のお話はとても分かりやすく、子どもたちも楽しめそうです。  
メスが結婚相手として、スタイルも羽の色つやも良く、囀りもきれいで、いい巣を準備  
し、餌をたくさんプレゼントしてくれるオスを選ぶのは、健康的で経済力のある男性を  
選ぶ人間と同じ。

公園を歩きながら、バードウォッチングのコース取りは太陽を背に浴びるように配慮  
すること、小学生は大人より視界が狭いこと、木にとまっている鳥の位置は木を時計に  
見立てて教えればよいなどアドバイスをいただく。一休みの時、谷さんがバッグから出  
したのは、長短二本の羽。それぞれ推力と浮力の違う役割があるとの説明、持ってみ  
ると、なんて軽いのでしょうか！メジロは10円硬貨2枚と同じ重さ。これも持ってみて体感。

11 時前、旭公民館へ移動し昼食をとって、11 時 40 分から視聴覚室で谷さんの講義。  
資料としてサントリーの「身近な鳥たち」や日本野鳥の会の紙芝居「わたしのことり」  
などが紹介。谷さんお手製の図を見ながら、鳥の体の構造について説明を受けました。  
生活の仕方や食するものに応じて足の指や嘴などそれぞれ違っていること、少しでも軽  
くするため歯がないこと、胃は2つあり、糞と尿は一緒に少しでも早く排出すること等々。  
最後に谷さんの手作りクイズ「ツバメバージョン」に挑戦。今日の研修のまとめがで  
きました。

子どもに鳥の大きさを伝えるのに便利だと紹介していただいた 1m の紐、早速家に帰  
って作ってみました。子どもたちと楽しい鳥の観察が出来そうな気がしてきました。